

本丸御殿・二の丸御殿の遺構

城の前の芝生にある黒い瓦は、かつて重要な建物があつたことを表している。本丸御殿は、本丸の約 2,730 平方メートルを占めていた。本丸御殿は、城主の居城であると同時に、租税や貿易などの行政の中心地でもあつた。城とその周辺の領地を管理する日常業務の大半は、ここで行われていた。

1727 年、本丸御殿が焼失したが、城には延焼しなかった。その後、城の管理機能は二の丸御殿に移された。この建物も 1 世紀半後に焼失した。二の丸御殿跡から出土した遺物から、城の日常生活がうかがえる。これらの遺物の一部は、大天守閣の 2 階に展示されている。

本丸御殿や二の丸御殿は現存しないが、スマートフォンアプリ「StreetMuseum」で城内の建造物の再現を見ることができる。